



飲酒運転は絶対ダメ！

飲酒運転根絶大使の山本君呼びかけ



高島警察署から飲酒運転根絶大使を任命されている青柳小学校2年生の山本凌生君が、8月18日(木)に市役所を訪れ、飲酒運転根絶を呼び掛けるポスターを西川市長に手渡しました。

このポスターは、昨年、滋賀県警察本部主催の「飲酒運転をやめようポスターコンクール」で優秀賞を獲得した山本君の作品で、市内の飲酒運転ゼロを目指すために、高島警察署がポスターとして作成したものです。

飲酒運転は、重大な交通事故につながる悪質な犯罪行為です。「飲酒運転は、しない・させない」を徹底し、市内から飲酒運転を追放しましょう。(交通対策課)

元町議 勝田さんと廣瀬さんに勲章

元安曇川町議会議員 勝田茂雄さんと元高島町議会議員 廣瀬知一さんが地方自治振興の功労者として、国から叙勲を授与されることになり、9月1日(木)に滋賀県高島環境・総合事務所長からご本人に伝達されました。(行政課)



旭日双光章を授与される勝田さん



旭日単光章を授与される廣瀬さん

ニセコ町で心温まる交流

高島市少年交流・体験事業

カタカナの町名が縁で交流を続けている北海道ニセコ町へ、市内の小学5・6年生20人と中学生2人が8月3日(水)から8日(月)までの6日間訪問しました。

ニセコアンヌプリ山頂へのハイキングやラフティング、アイスクリーム作りなどの体験活動のほか、ニセコ町のご家庭にホームステイさせていただき、夏まつりにも参加させていただき、地元の人たちとの心温まる交流ができました。

北海道は、例年にない暑さでしたが、雄大な自然やニセコ町の皆さんの優しい心にふれて、思い出に残る訪問となりました。

(高島市青少年育成市民会議)



江田島で充実の4日間

よえもん道場「江田島キャンプ」

市内の小学4年生から6年生が集まり、体験活動を行う「よえもん道場」では、7月29日(金)から8月1日(月)までの3泊4日の日程で、広島県の国立江田島青少年交流の家でキャンプを行いました。

カッターボートやウミホタルの観察、キャンプファイヤーなど、普段の生活では体験することができない活動を通して、仲間と協力することの大切さや自然の素晴らしさを学び、充実した4日間を過ごしました。

(高島市青少年育成市民会議)



連携密にし、すばやく消火

夏期火災防ぎょ訓練

8月28日(日)に、グリーンパーク想い出の森および滋賀県立いきものふれあいの里センターで、陸上自衛隊、航空自衛隊、高島市消防団、消防本部合同の夏期火災防ぎょ訓練が実施されました。

この訓練は、火災が発生しやすく、水利が不足するこの時期に毎年行われています。今回は「グリーンパーク想い出の森内にあるバンガロー東側の山林から出火、延焼中」との想定で訓練が行われ、出動要請を受けた各機関が互いに連携し、迅速な消火活動が展開されました。(消防本部)



区民夏祭りで大震災犠牲者を追悼



8月14日(日)の夜、十八川区民納涼夏祭りが開催されました。東日本大震災犠牲者の追悼と鎮魂の思いを込め、竹灯籠120基に区民が順に点灯。闇夜に映えるイルミネーションは、「がんばろう！日本」の決意とともに、区民の心を明るく照らしているようでした。

各種団体が協賛する12の屋台・ゲームコーナーや舞台などもあり、子どもと大人が賑やかな時を共有し、いっそう絆が深まったようでした。(十八川区)

子どもら友好の輪を広げる

吹田市・高島市少年キャンプ大会

8月17日(水)から19日(金)までの3日間、吹田市立少年自然の家で、第31回吹田市・高島市少年キャンプ大会が行われ、吹田市と高島市から125人の子どもたちが参加しました。

クラフトづくりや、野外炊事、キャンプファイヤーなどを通して子どもたちが交流し、夏休みの楽しい思い出となりました。

(社会教育課青少年育成室)



子どもら論語の大作に挑戦！

了佐てらこや小学校

中江藤樹記念館では、毎年夏休みに、「了佐てらこや小学校」を開校しています。この学校は、中江藤樹先生の弟子で人一倍努力して名医となった大野了佐にならったもので、「読み」「書き」「計算」という古来の学習法を行います。

今年は、7月27日(水)から8月4日(木)までのうち5日間、小学4年生以上の19人が参加しました。市内在住の書家・西川守彦氏を講師にむかえて、大きな声を出して「論語」を繰り返し読んだ後、毛筆習字の基本を学びました。最終日には、屋外に出て汗だくとなって「論語のことば」の大作に挑戦しました。作品は10月30日(日)まで中江藤樹記念館で展示しています。(中江藤樹記念館)

